

特定非営利活動法人多摩胃ろう・摂食えん下ネットワーク 令和4年度理事会議事録

- 1 日時 令和5年3月29日（水）19:00-20:30
- 2 場所 新型コロナウイルス感染拡大により ZOOM にてオンライン会議
- 3 出席者数 出席：宮脇、宮本、小池、重松、桂川、白井、初野、田中裕之、大津、淵野、近藤
浜本(IT担当)、アプテグローブ有子（事務局見習い）
欠席：数井、蓮村、田中譲、水野、監事 大貫

4 決議事項

(1) 第一号議案

議長の選任 宮脇理事長を議長として選任した。

(2) 第二号議案 令和4年度事業報告

・摂食・嚥下班活動 NST 活動報告-近藤

・会計報告-近藤

会計報告（収支報告にて支出に関する意見交換）

意見交換内容

- ・支出節約案として携帯電話を解約、もしくは安い契約へと変更する。
- ・公開講座での電話問い合わせが多かった事を踏まえると携帯の解約は困難。
- ・助成金がないと年間約30万円のマイナスが出ており、今後どう補っていくか。
収入源を増やす方を練る必要がある。
- ・賛助会員を増やすために、会員としてのメリットが必要ではないか。
- ・会員としてのメリットとしては、HPに企業バナー広告をつけ、バナーから企業HP
へ移動できるようにする方向で検討中。
- ・賛助会員入会の増加を目的として、1企業48000円へと下げ、入会しやすくした。
- ・市民公開講座での広告ができるという特典がある事を、公開講座や、リーフレットに
関わる食品会社や薬局へアプローチをしていくことも検討するべき。
- ・企業との繋がりがある各医師が橋渡しをできるような方策を立てる必要がある。

(3) 第三号議案

胃ろう班の活動について

・中村医師が当法人と連携して、期待していること。

- ① 医療センターで胃瘻造設ができることをHPに載せることで医療センターとしては
集客へと繋がる。

- ② 在宅へと移行するための連携できるクリニックの情報が得られる事で退院支援がスムーズになる。
- ③ 講演をしていただくことでコメディカル含め医師も胃瘻造設後のアフターケアに関する知識が増え、退院支援の胃ろう管理の指導ができる。
- ④ 造設し、退院した後の患者の満足度や、生活が理解できることに繋がる。

(4) 第四号議案

看護職、介護職対象にセミナーを開くなどを議題にして胃ろう班会議をする。

胃ろう班は何を主題に活動をするかを決定する必要があるが、これは主にセミナーになっていくのかと思われる。

医師会の協力を得て、胃ろう対応しているクリニックや、栄養指導しているクリニックの情報一覧の作成を検討できないか。

数井医師からの八王子医師会の情報を活用できると思われる。

・意見交換まとめ

5月の総会へ向けて、事務局へ各理事の意見を集う。

・来季に向けての取り組みについて

現時点では、リーフレット第五部の作成

目標として上手に企業を使えるような市民公開講座を開催する

宿題事項

5月総会に向け各理事へ、活動の方向性の意見を集う

次回

NPO 法人胃ろう・摂食嚥下ネットワーク総会

開催日時 2023年5月24日 19:00より

開催方法 zoom

文責：アプテグローヴ有子、近藤